

静岡県内市町の地域コミュニティ・協働事例

熱海市・「ATAMI2030会議」

今ある資源を活かす！「暮らし方のリノベーション」に繋がる会議

熱海市では、市民、民間事業者、創業希望者など様々な方が参加する「ATAMI2030会議」という会議を完全公開参加型・6回シリーズで開催し、その内容をもとに「リノベーションまちづくり構想」の策定を予定しています。

「熱海リノベーションまちづくり構想検討委員会」の委員を囲んだ形で2030年を見据えた「暮らし」「仕事」「ツーリズム」等様々な分野について検討するこの会議には、市内外から熱海市について考える多くの方が参加していました。

「熱海リノベーションまちづくり構想検討委員会」は、市内で暮らしたり会社を経営している8名に加え清水義次座長を初めとする学識経験者6名で構成されています。

第3回となる今回のテーマは「**林業とエコな暮らし**」。

最初に、検討委員会の委員・建築家の竹内昌義さんから「週末は木こり暮らし」という話題提供があり、その後、実践者ミニトークとして3名の方が熱海近辺での**林業関連の実践内容**を発表。さらに**会場も交えた意見交換**と続きましたが、発言が途切れることはありませんでした。



委員の方を中心とした円形の会議



実践者ミニトークでも林業の話題です

参加者の年代は様々ですが、特に20代から30代の若者世代が多いように感じました。「公開参加型」として、会議の様子は、インターネットで中継していたそうです。

また、この会議に関する情報を、SNSを使って参加者が発信することで、その場にはいない人も、「ATAMI2030会議」に関わることができる仕掛けがありました。



会議中、スマホやパソコンで参加者が発信

委員・参加者からは、「**森林の観点で熱海の街を見たことがなかった**」「**熱海の木でリノベーションしたい**」「**自然がいっぱいで首都圏からも遠すぎない熱海に移住したい**」など、「暮らし方」にかかわる発言が多くありました。

編集後記

地元の人だけでなく、市外の人も含めて、分野を越えて人が集まる場が作られていることに驚きました。次回のテーマは福祉だそうです！